立命館大学応用人間科学研究科[共催]学校法人立命館　災害復興支援室

東日本大震災シンポジウム

災害後コミュニティのレジリエンスを引き出す支援とは

2014･2/18(火)10:00～16:30

場所：衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

※どなたでもご参加いただけます。

東日本大震災から3年目を迎えようとしている今、私たちはどこにいるのだろうか。

応用人間科学研究科は十年計画の「東日本・家族応援プロジェクト」を立ち上げ、3年目のプロジェクトを終えたところです。過去に学び、今後の支援のあり方を探るために、被災地で支援活動を続けてこられた方々をお招きし、それぞれの活動について、また、どの時期にどのような支援が求められてきたのか、それに対して、外からやってきた支援がどのように役立ったのか、役立たなかったのか、今後のニーズはどう変化していくのかなどについて話題提供いただき、議論していきます。

■午前の部　10:00～12:00

「東日本・家族応援プロジェクト」の取り組み～サービスラーニングの観点から

＜話題提供者＞　立命館大学応用人間科学研究科院生

＜コメンテーター＞山口洋典（立命館大学サービスラーニングセンター副センター長）

■午後の部　13:00～16:30

「東日本大震災から3年の支援を振り返る」

＜話題提供者＞

○**「宮城における女性支援の視点から」**	八幡悦子氏	（NPO法人ハーティ仙台代表理事）
○**「福島における子ども・若者の支援から」**	中鉢博之氏	（NPO法人ビーンズふくしま被災こども支援部門理事）
○**「岩手における子ども支援の視点から」**	山本克彦氏	（一般社団法人子どものエンパワメントいわて代表理事）
	八重樫綾子氏	（NPO法人いわてGINGA-NET代表）
○**「臨床心理士として」**	河野暁子氏	（臨床心理士）
○**「避難者支援・支援者支援の視点から」**	野池雅人氏	（特定非営利活動法人きょうとNPOセンター常務理事・事務局長）

＜コメンテーター＞

中村　正　（立命館大学応用人間科学研究科　教授）

立命館大学
応用人間科学研究科

【問合せ先】〒603-8577　京都市北区等持院北町56-1　TEL.075-465-8375
http://www.ritsumei.jp/index_j.html　Email：doku-ken@st.ritsumei.ac.jp

東日本大震災シンポジウム　2/18（火）

■立命館大学衣笠キャンパス　創思館カンファレンスルーム

■10:00～16:30（15分前開場）

［スケジュール］

●午前の部　10:00～12:00

「東日本・家族応援プロジェクト」の取り組み～サービスラーニングの観点から

〇開会挨拶：荒木穂積　（立命館大学大学院応用人間科学研究科・研究科長）

〇司会：谷晋二　（立命館大学大学院応用人間科学研究科・副研究科長）

＜話題提供者＞

村本邦子　（立命館大学大学院応用人間科学研究科・教授）

木下大輔　（立命館大学応用人間科学研究科・臨床心理領域M1）

奥野景子　（立命館大学応用人間科学研究科・対人援助領域M1 ）

清武愛流　（立命館大学応用人間科学研究科・対人援助領域M2 ）　　ほか

＜コメンテーター＞

山口洋典　（立命館大学共通教育推進機構・准教授、立命館大学災害復興支援室チーフディレクター、
立命館大学サービスラーニングセンター副センター長）

●午後の部　13:00～16:30

東日本大震災から3年の支援を振り返る

〇開会挨拶：サトウタツヤ　（立命館大学研究部長・文学部教授）

〇司会：村本邦子

＜話題提供者プロフィール＞

・**八幡悦子**氏：NPO法人ハーティ仙台・代表理事、（公益財）せんだい男女共同参画財団理事、大学・専門学校などの非常勤講師を行う助産師。元みやぎジョネット代表として被災地女性支援に関り、『女たちが動く』（生活思索社）を共著で出版。

・**中鉢博之**氏：NPO法人ビーンズふくしま被災子ども支援部門理事、東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口主任コーディネーター、うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト総括マネージャー。1999年より福島市でフリースクールの設立に関り、震災後は仮設住宅における子ども支援や「子どものこころのケア」事業担当として、支援者支援や専門職派遣なども行っている。

・**山本克彦**氏：一般社団法人子どものエンパワメントいわて代表理事、岩手県立大学社会福祉学部（准教授）。災害復興支援センター・センター長。災害ソーシャルワーク専門。

・**八重樫綾子**氏：岩手県立大学学生ボランティアセンター代表等を経て、NPO法人いわてGINGA-NET代表。文部科学省生涯学習政策局・教育復興支援員。

・**河野暁子**氏：臨床心理士。2005～2011年まで国境なき医師団で活動し、パレスチナ、イエメン、東北へ派遣された。東日本大震災直後より、宮城県・岩手県にて支援活動に従事。2012年4月より大船渡地域こころのケアセンターに勤務。

・**野池雅人**氏：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター常務理事事務局長。2006年から京都市災害ボランティアセンターを共同運営。東日本大震災においても、現地NPOと連携し支援団体の支援等を行う。

＜コメンテーター＞

中村　正　（立命館大学大学院応用人間科学研究科・教授）

団士郎　家族漫画展開催（創思館カンファレンスルーム内）

団士郎プロフィール：立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。公立の児童相談機関心理職２５年を経　て独立。

東日本家族応援プロジェクトを　2011年より東北４県にて展開。漫画家としても活躍し、著書に『不登校の解法』（文春新書）、『家族力×相談力』(文春新書)など。

※本シンポジウムは立命館大学研究高度化推進制度基盤研究の助成を受けています。